

**CHECK SYSTEM FOR IMPROPER EXPRESSION**

Patent Number: JP3098157  
Publication date: 1991-04-23  
Inventor(s): MIURA TAKEKI  
Applicant(s):: NEC CORP  
Requested Patent: ☐ JP3098157  
Application Number: JP19890236528 19890911  
Priority Number(s):  
IPC Classification: G06F15/20  
EC Classification:  
Equivalents:

---

**Abstract**

---

**PURPOSE:**To eliminate the improperly expressed (discriminative terms, etc.) sentences, paragraphs and words by checking them via an expression check dictionary.  
**CONSTITUTION:**A sentence conversion processor includes a KANA (Japanese syllabary)/KANJI (Chinese character) conversion processor 1, an input/output device 2, and a storage 3. Then a KANA/KANJI conversion dictionary 4 is provided together with an expression check dictionary 5. A sentence inputted to the sentence conversion processor is turned into a KANJI-KANA mixed sentence via the dictionary 4 and undergoes the expression check via the dictionary 5. The sentences, paragraphs and words which are shown in the socially improper expressions are registered in the dictionary 5. Thus each input sentence is collated with the dictionary 5 and a warning display is carried out if those improperly expressed sentences, paragraphs and words are detected. As a result, it is possible to eliminate the input parts (discriminative terms, etc.) shown in the socially improper expressions.

---

Data supplied from the esp@cenet database - I2

**BEST AVAILABLE COPY**

## ⑫ 公開特許公報(A) 平3-98157

⑤ Int. Cl.<sup>3</sup>

G 06 F 15/20

識別記号

5 5 0 J

庁内整理番号

7165-5B

⑬ 公開 平成3年(1991)4月23日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 不適切表現チェック方式

⑯ 特 願 平1-236528

⑰ 出 願 平1(1989)9月11日

⑱ 発 明 者 三 浦 雄 樹 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内  
⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目7番1号  
⑳ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

## 明 細 書

## 発明の名称

不適切表現チェック方式

## 特許請求の範囲

ワードプロセッサやパーソナルコンピュータ等の文章変換処理において、文法的には正しいが、社会的に不適切な表現が入力された場合に警告表示を行うことを特徴とする不適切表現チェック方式。

## 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明はワードプロセッサやパーソナルコンピュータ等の文章変換処理方式に関する。

〔従来の技術〕

従来、ワードプロセッサやパーソナルコンピュータ等による文章変換処理はカナ漢字変換辞書によって入力文章の漢字変換のみを行っている。

〔発明が解決しようとする課題〕

上述した従来のワードプロセッサやパソコン等の文章変換処理はカナ漢字変換辞書により正しい漢字への変換はできるが、文章表現上社会的に不適切な入力部分(差別用語など)があってもその部分をチェックできないという欠点がある。

〔課題を解決するための手段〕

本発明の不適切表現チェック方式は、ワードプロセッサやパーソナルコンピュータ等の文章変換処理において、文法的には正しいが、社会的に不適切な表現が入力された場合に警告表示を行うようにして実現される。

〔実施例〕

以下、本発明について図面を参照して説明する。

第1図は本発明の一実施例を示す構成図である。同図において不適切表現チェック方式は、カナ漢字変換処理装置1と入出力装置2と記憶装置3を含む文章変換処理装置と、カナ漢字変換辞

BEST AVAILABLE COPY

文章変換処理装置に入力された文章はカナ漢字変換辞書４により漢字カナ混りの文章に作成され、その後、表現チェック辞書５により１文ずつ表現チェックがされる。表現チェック辞書５には社会的に不適切な表現の文・文節・単語が登録されており、入力文章を１文ずつこの辞書とつぎ合わせ、同一表現の文・文節・単語があった場合にはその旨の警告表示を行う。

第2図は本発明の動作を示す説明図である。入力装置2aよりカナ漢字変換処理装置1に入力された文章はカナ漢字変換によりカナ漢字混り文となる。ここで一つの文の完結符号が入力された時、前回の完結符号から今回の完結符号までの間に表現チェック辞書に登録されているものと同じ文・文節・単語がないか表現チェックを行う。もし同一の表現があれば、その部分に対してその旨の警告出力を出力装置2bに行う。

第3図は、上記の動作を示す流れ図である。  
〔発明の効果〕

以上説明したように本発明によれば表現チェッ

ク辞書により不適切な表現（差別用語など）の文・文節・単語をチェックする事により、これらを除くことができる効果がある。

また、文章の不適切表現はその文章が使われる場面により異なるので、表現チェック辞書を場面に応じた別の表現チェック辞書に交換することにより、より効果的な表現チェックを行うことができる。

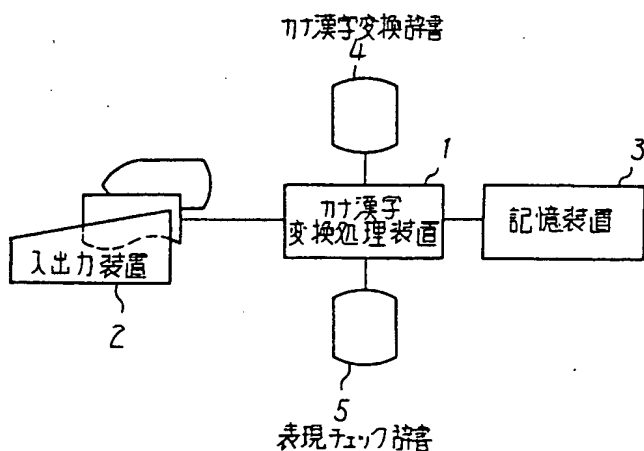
### 図面の簡単な説明

第 1 図は本発明の一実施例を示す構成図、第 2 図は動作を示す説明図、第 3 図は流れ図である。

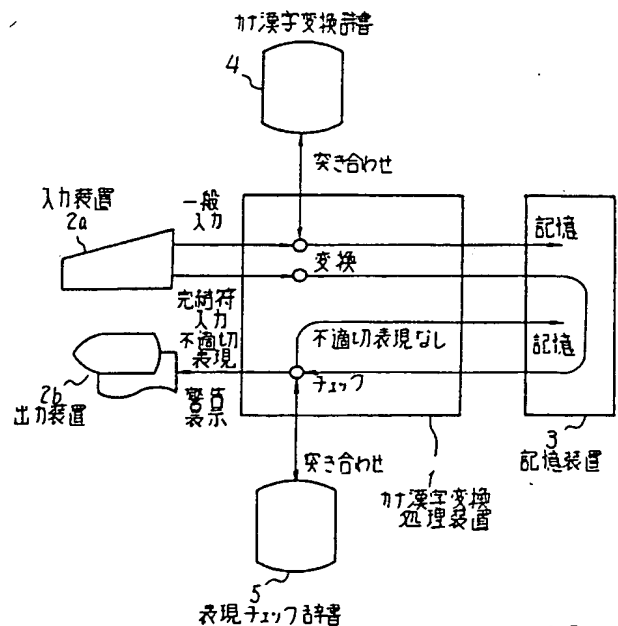
1…カナ漢字変換処理装置、2入出力装置、3…記憶装置、4…カナ漢字変換辞書、5…表現チェック辞書。

代理人 弁理士 内 原 晋

第 1 圖

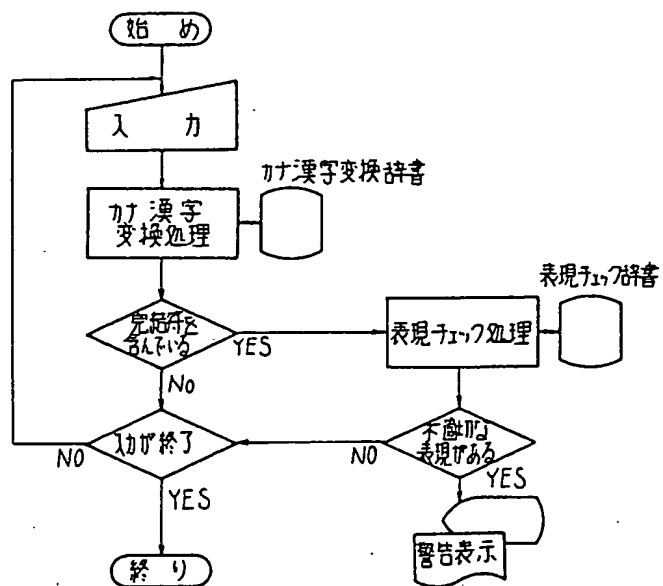


第 2 题



**BEST AVAILABLE COPY**

第 3 図



BEST AVAILABLE COPY